

物流における環境配慮

モーダルシフトなどによる物流効率化を通じて、環境負荷の低減に積極的に取り組んでいます。

カシオでは、お客様への物流サービスの向上と同時に、環境にやさしい物流を目指すという方針のもと、環境負荷の低減に努めています。

国内物流における取り組み

■目標：2007年度までにCO₂排出量を売上高原単位あたり50%削減(対2000年度比)

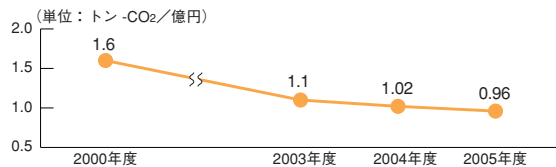
■2005年度実績

2005年度のCO₂実績は排出量で前年比97.2%、売上高原単位で前年比94.8%となりました。

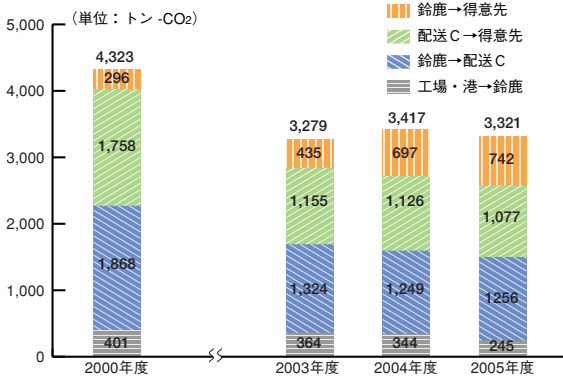
2000年度比では売上高原単位で40%削減しました。

国内物流に伴うCO₂排出量/売上高原単位の推移

●売上高原単位推移



●CO₂排出量推移



※国内完成品のみで、システム製品の出荷分も除く
※グラフの中で合計が合わない場合がありますが、端数処理の関係です。

海外物流における取り組み

■目標：2007年度までにCO₂排出量を売上高原単位あたり5%削減(対2004年度比)

■2005年度実績

2005年度のCO₂実績は排出量で2004年度比100.6%とほぼ横ばいですが、売上高原単位で見ると2004年度比96.9%と約3%の削減となりました。

2005年度地域・ルート別CO₂排出量

単位: トン-CO₂

	SEA	AIR	RAIL	計
北米	11,751	28,812	1,611	42,174
欧州	10,198	31,695	0	41,892
日本	3,126	8,718	0	11,844
中国	134	211	0	345
ASEAN	118	0	0	118
計	25,327	69,436	1,611	96,373

※完成品のみ

取り組み事例

■欧州向け輸送

欧州向けAIR便の一部をドバイ経由のSEA&AIRに変更することによりCO₂を削減しました。

■北米向け輸送

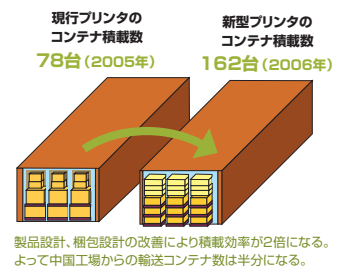
米国東海岸への輸送(現行SEA&RAIL)にALL WATERを採用し、CO₂を削減しました。



取り組み事例

■プリンタ梱箱改善

製品設計、梱包設計の改善によりコンテナ積載効率を2倍に改善しました。



今後の取り組み

本年4月より施行された改正省エネ法への対応に伴い、カシオ全体の輸送量を把握する必要が出てきました。

今後は、まず現在把握しきれていないシステム製品の出荷および部品等、完成品以外の出荷についても本年度の把握ができるようにするとともに2007年度(国内、海外)の目標達成に向けた拠点統廃合、モーダルシフト等の推進を進めていきます。